

## 後期課程「夏のウォークラリー」 8月1日(月)

【ねらい】

市街地で暮らす人々にとっての八女市(矢部村)の価値を知るとともに、自分の住む地域を様々な視点で見つめ、改めて八女市(矢部村)のよさを実感することができるようにする。

【今回のミッション(活動内容)】

- ① 博多駅に現地集合・現地解散 自分たち(班)で、公共の交通機関を使って、集合場所まで来る。
- ② 福岡県国際交流センター(アクロス3階にある、福岡県に住む外国人・留学生のサポートをする機関)を訪問して、このセンターの役割について知るとともに、外国人スタッフの方に英語で矢部について話す。
- ③ 八女本舗(天神にある八女市のアンテナショップ)に行き、八女市の特産物が天神で大人気であることを実感するとともに、店員さんにインタビューする。
- ④ 福岡県庁・県議会を訪問して、福岡県の特徴・魅力や県議会のしくみ・役割について知るとともに、服部県知事表敬訪問の中で、矢部のよさ、矢部清流学園のよさについて伝える。
- ⑤ 班員と協力し合い、全てのミッションをクリアしながら、目的地(ゴール)に早く戻ってくる。



八女本舗にて、矢部出身の店員さん

ミッション②においては、“What’s yomogi manjyu?” “Who is Yametsu hime?” “What’s Himeshizuku?”と聞かれ、何と答えていいのか、身振り手振りしながら、会話しているのが印象的でした。また、感想を尋ねると「うまく伝えられなかったのが悔しかった。」と…。そこで、翌日、何と伝えたら良かったのか、改めて考えて英語で説明文を完成させると…「うわぁ～ できた! うれしい! 楽しい! もう一度、ナンシーさんに会って、これを伝えたい!」と、再度悔しがっていました。これこそ、英語学習! 学ぶ意義! ですね。

ランチは、全部の班が「スターバックスコーヒーに行きたい!」と…。しかし、時間は足りなくてあせっているのに、店は混んでいて、さらにあせり、あたふたせわしく食べて移動していました。(笑)

ミッション④においては、清流会会長の高山紗希さんが、県知事さんの目をしっかり見ながら、矢部清流学園でしか味わえない、素晴らしい活動を具体的に紹介しながら、矢部のよさを伝えることができました。横で見ていた後輩たちは、「紗希さん、すごい! カッコいい! 尊敬する!」と絶賛していました。きっと、「こんな9年生になりたい!」と憧れを抱いたことでしょう。

今回の県庁・県議会訪問においては、矢部の栗原悠次県議に、多大なるご協力をいただき、心から感謝申し上げます。



八女出身の桐明県議会議長さんとの対談。八女弁で気さくに話しかけていただき、うれしかったです。

開店前から行列ができると聞いたり、実際にお客さんが途絶えることなくぎわっていて、八女のよさを改めて知ることができた。ここに並んでいる野菜や果物などの特産品は、普段から見ているものだけど、天神でたくさんの人たちが買っていかれるのを見て、すごいことなんだと感じたし、八女は素敵な場所だとわかり、大切にしていきたいと思った。

八女本舗では、矢部から遠いのに、矢部のゆりや野菜などが売られていてすごいと思った。矢部の商品も有名になればうれしいなあ。



生徒の感想より

議会場を見学。議長席にも座らせていただきました。普段経験できないような体験ができたし、県知事さんや県議員の方々が私たちのことをいろいろ考えていただいているかがわかった。感謝の気持ちを忘れないように生活したい。

